

文京区環境基本計画 コラム（案）

コラムは内容確定後、最終的に本編へ差込されます。

■低炭素分野

- (1) 気候変動への国際的な動きが活発化しています
- (2) 水素ってなんだろう？
- (3) ZEH・ZEB とは？

■資源循環

- (4) 食品ロスをなくしましょう
- (5) 54g のごみとは？
- (6) 雑がみは資源です
- (7) 江戸と現代の循環型社会の歴史

■快適・安全

- (8) 神田川はこんなに変わりました
- (9) 身の回りの環境はどうなっている？
- (10) 適応策ってなに？

■自然共生・歴史・文化

- (11) 文京区でもこんな生きものを見つけました
- (12) 歴史・文化の息吹を感じましょう
- (13) 水辺を探しましょう

■連携・基盤づくり

- (14) 環境ライフサポーターを紹介します
- (15) 事業者との連携・協働のカタチを探ります
- (16) 区が目指すべき未来の環境都市像をみんなで考えました

コラム1 気候変動への国際的な動きが活発化しています

■気候変動に向けた動き

2015年11～12月の国連気候変動枠組条約第21回締約国会議（COP21）において、2020年以降の気候変動対策の新たな国際的枠組みとなる「パリ協定」が採択されました。

2016年11月にパリ協定は発効され、続いてマラケシュで開催された第22回締約国会議（COP22）では、パリ協定の詳細なルールづくりについて話し合われ、今後国際的な気候変動に対する動きが一層加速していくと考えられます。

■パリ協定の概要

- ・世界共通の長期目標として、「産業革命以前に比べて平均気温上昇を 2℃より十分低く保つとともに、1.5℃に抑える努力を追求すること」
- ・主要排出国を含むすべての国が削減目標を 5 年ごとに提出・更新
- ・適応の長期目標の設定、各国の適応計画プロセスや行動の実施、適応報告書の提出と定期的更新

日本は温室効果ガスの排出量を 2013 年度比で 2030 年度までに 26%削減する目標を新たに掲げており、平成 28 年 5 月に閣議決定した「地球温暖化対策計画」でも ZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）・ZEB（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）のほか、LED 等の高効率照明（2030 年度までに 100%）などの積極的な取組が示されました。

なお、文京区では平成 26 年度に見直した「文京区地球温暖化対策地域推進計画」において、二酸化炭素を 2005 年度比で 2019 年度までに総量 14%削減する目標（家庭部門：世帯あたり 21%、業務部門：床面積 100m²あたり 28%）を掲げています。現在この目標達成に向けて取組を進めており、将来的にはこれまでの低炭素から、さらに踏み込んだ「脱炭素のまち」に向けて一層の取組を進めることとなります。

■気候変動により日本でも想定される影響

地球温暖化は、化石燃料などの大量消費により大気圏に二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスが蓄積・増加することで地球表面の温度が上昇する現象です。温室効果ガスが排出され続け温度が上昇することで、地球規模での気候変動をもたらすと言われていています。

これは、日本においてもさまざまな影響が起きると予測されており、例えば、大雨や強い台風に見舞われる機会が増えたり、熱中症患者が増加したり、蚊を媒介とする感染症が拡大することなどが挙げられます。



出典)環境省「気候変動影響レポート」

コラム2 水素ってなんだろう？

■なぜ水素が注目されているの？

水素はエネルギーとして使うことができ、酸素と結合することで、電気と水がつけられます。二酸化炭素などを排出しないため、環境にやさしいこれからのエネルギーとして注目されています。



水素情報館 東京スイソミルに行ってきました！



水素情報館「東京スイソミル」は、目に見えない水素のことや誰も見たことのない水素社会の将来像を、見て触って体験しながら楽しく学べる総合的な学習施設です。

自転車をこいで、水を電気分解することで水素が発生！

■水素はどうやってつくられる？

水素はそのままの形では存在しておらず、何かと結合した状態で存在しています。最も身近なものは酸素と結合した水の状態です。この水を電気分解すると、水素をつくることができます。



■水素は何に使えるの？

水素を活用した製品として、自動車の他、電気とお湯を同時につくり出すことのできる家庭用燃料電池が既に販売されています。



■水素社会のイメージ

これから水素ステーションが増え、燃料電池のバスがまちなかを走ったり、大規模災害時に自立して電気や温水をつくるようになるなど、私たちの生活に水素エネルギーがより密接に関わることとなり、「水素社会」に向けて進んでいくこととなります。



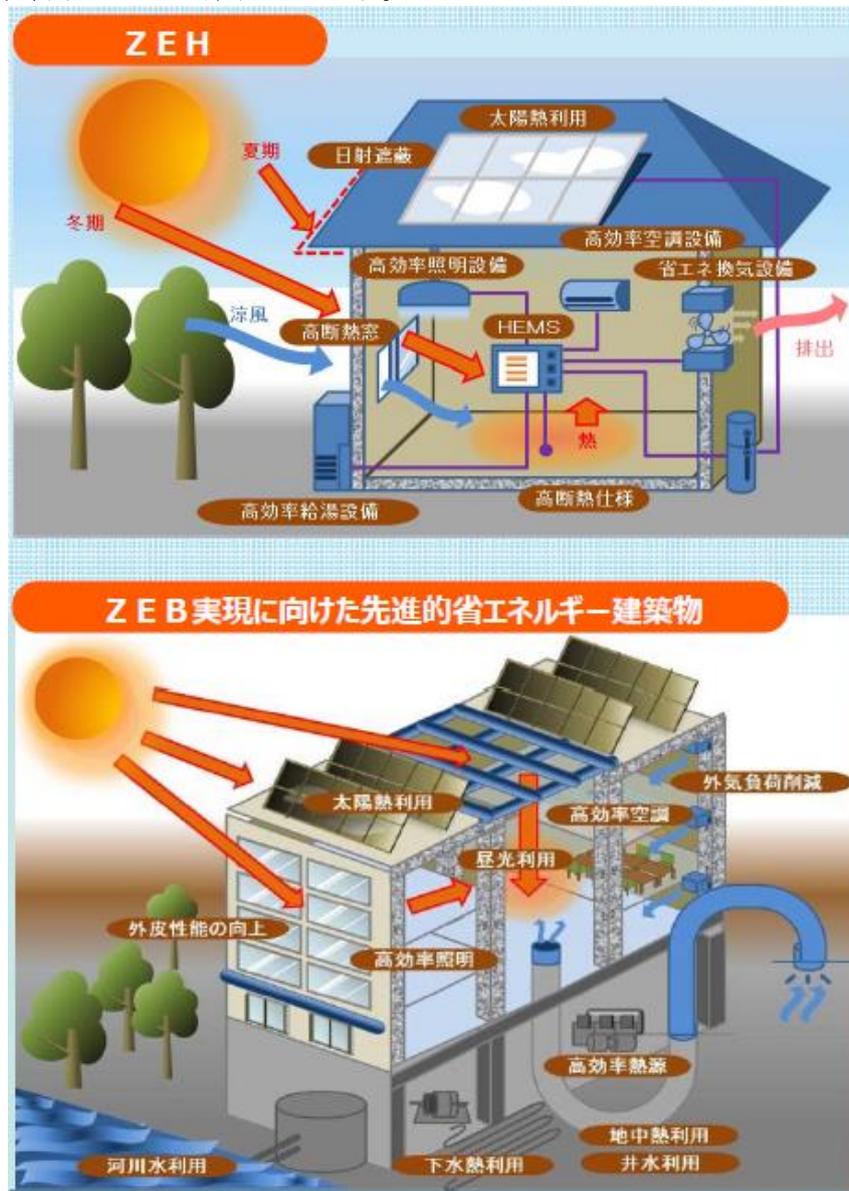
コラム3 ZEH・ZEBとは？

ZEHとは、Net Zero Energy House (ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス) の略で、住宅の高断熱化と高効率設備によりできる限りの省エネルギーに努め、太陽光発電等によりエネルギーを創ることで、年間で消費するエネルギー量がゼロまたはおおむねゼロとなる住宅のことをいいます。

また、ZEBとは、Net Zero Energy Building (ネット・ゼロ・エネルギー・ビル) の略で、ZEHと同様の内容をビルなどの建築物で達成した建物のことです。

我が国では、「エネルギー基本計画」(2014年4月閣議決定)において、「住宅については、2020年までに標準的な新築住宅で、2030年までに新築住宅の平均でZEHの実現を目指す」「建築物については、2020年までに新築公共建築物等で、2030年までに新築建築物の平均でZEB実現を目指す」とする政策目標を設定しています。

ZEH・ZEBの普及により、民生家庭部門及び民生業務部門におけるエネルギー需給構造を抜本的に改善することが期待されます。



出典) 経済産業省資源エネルギー庁「ZEH普及に向けて～これからの施策展開～」

コラム 4 食品ロスをなくしましょう

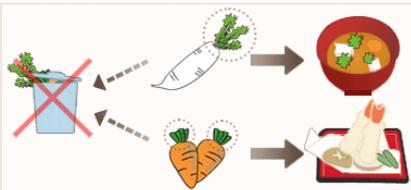
食品ロスとは、買い過ぎ・期限切れ・食べ残し・過剰な除去（野菜の皮など）等により、本来食べられたはずなのに捨てられてしまうもののことをいいます。日本では平成 25 年度は年間 632 万トン（政府広報オンライン）におよぶ食品ロスが発生しているといわれています。

国連総会において、今後の持続可能な発展を進めるための重要なテーマの一つに取り上げられており、日本でも官民をあげて「食品ロス削減国民運動」の展開を図ることとされています。

なお、文京区で平成 26 年度に家庭ごみの組成分析調査を行ったところ、可燃ごみに含まれる未利用食品は区全体の推計で、年間約 830 トンに上り、処理経費として約 4,800 万円が使われたこととなります。

一人ひとりの意識を高め、無駄なく消費して食品ロスを減らしていきましょう。

□食品ロスを減らすコツ

買物編	料理編
<ul style="list-style-type: none"> ・買物に行く前に在庫を確認 ・量り売り・ばら売りを利用 ・セールなどで買いすぎない  <p>イラスト出典) フード・アクション・ニッポンホームページ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・傷みやすい食品は早めに利用 ・食べられる期限を定期的に確認 ・皮や茎も出さずに調理 ・つくりすぎない  <p>イラスト出典) フード・アクション・ニッポンホームページ</p>
食事編	応用編
<ul style="list-style-type: none"> ・好き嫌いなく残さず食べる ・食べられる量だけを盛りつける ・宴会などでは食べきれる量のメニューを選択 	<ul style="list-style-type: none"> ・未利用・未開封の食品をフードドライブ※に提供する 

※家庭で余っている食品等を持ち寄り、広く地域の福祉団体や施設等に寄付するボランティア活動。

出典) 文京区一般廃棄物処理基本計画

コラム5 54gのごみとは？

「文京区一般廃棄物処理基本計画」では、ごみ量を平成 32 年度に平成 21 年度比で約 20% 削減、資源量を平成 32 年度に平成 21 年度比で約 10% 増加することを目標に掲げています。

当該計画の進捗管理のために設定された基本指標の一つである、区民 1 人 1 日当たりの家庭ごみ排出量を 332g にするためには、平成 32 年度までの計画期間後半 5 年間で区民 1 人 1 日当たり 54g のごみを減らす必要があります。

《54g のめやす》

もらわないようにするもの



レジ袋
(LL2 枚)
10g



割り箸
4g

使う量を減らせるもの



食品ラップ
(30cm 幅×20cm)
2g

拠点回収に出せるもの



牛乳パック
(1L)
30g



トレイ
(2 枚)
8g

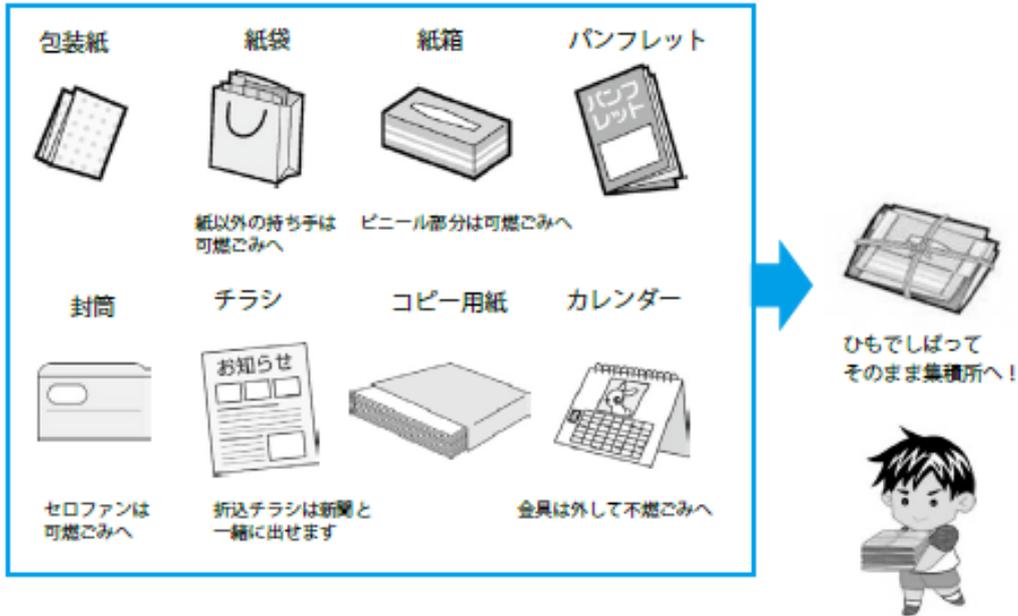
出典)文京区一般廃棄物処理基本計画

コラム6 雑がみは資源です

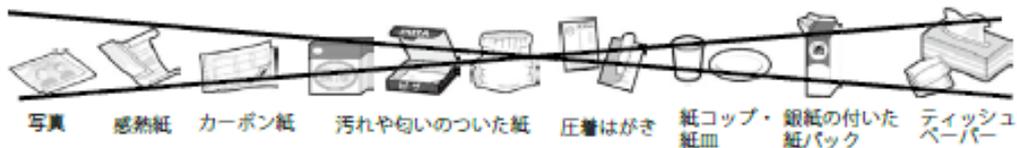
区が平成26年度に実施した組成分析調査では、可燃ごみの15.7%にリサイクルできる紙類が混ざっていました。新聞・雑誌・段ボール・紙パックだけでなく、身の周りの包装紙・紙袋・お菓子やティッシュの空き箱なども「雑がみ」として分類すれば、資源としてリサイクルすることができます。

ごみとして出してしまう前に「雑がみ」を分けて、週1回の資源の日に出しましょう！

雑がみってどんな紙？



注) これらの紙は雑がみではありません。可燃ごみに出しましょう。



出典) 文京区一般廃棄物処理基本計画

コラム 8 神田川はこんなに変わりました

文京区の南西部から南東部を流れる神田川は、高度経済成長期の頃には生活排水の流入により水質が悪化した影響で非常に汚い川となっていました。

昭和 30 年頃は、下記写真の右上のように「どぶ川」に近いイメージでしたが、下水道の整備とともにきれいになり、魚が戻ってくるようになりました。

平成 8 年に新宿区が行った魚類調査では、アユも確認されており、保たれることが望ましい状態である環境基準は、現在水域類型 C に指定されています。

これからも区の大切な河川として、水質の維持に努める必要があります。

□神田川（右上：昭和 30 年頃、左下：現在）



■ 神田川の生活環境の保全に関する環境基準

項目 水域類型	基準値			
	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD)	浮遊物質 (SS)	溶存酸素量 (DO)
C	6.5以上 8.5以下	5mg/l以下	50mg/l以下	5mg/l以上

出典) 文京区「文京のかんきょう」

出典) 公益社団法人日本下水道協会

コラム9 身の回りの環境はどうなっている？

日本では高度経済成長期により飛躍的に経済が発展しましたが、これに伴う大気汚染や水質汚濁、土壌汚染、騒音・振動などの環境問題が日本各地で顕在化し、深刻度を増してきました。

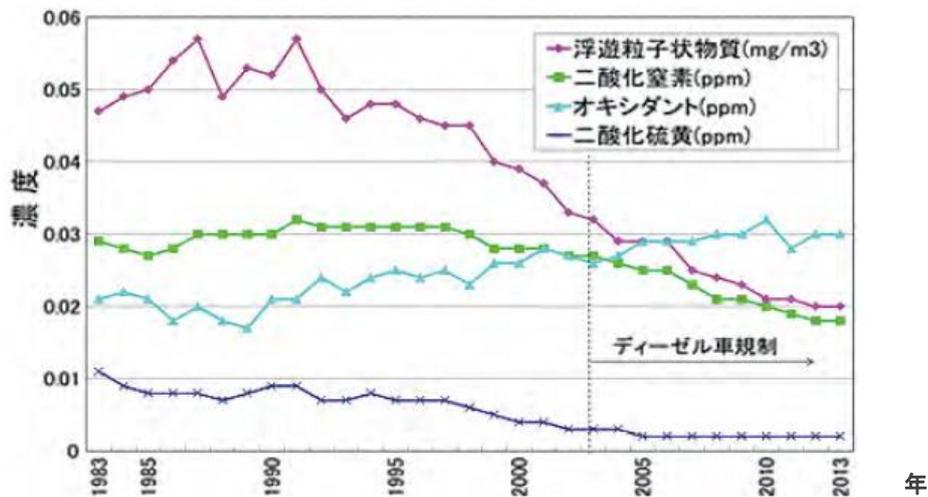
このため、国では昭和42年に「公害対策基本法（現在は環境基本法）」を施行するなどして、各種法規制を強化しながらこれらの環境問題に対応してきました。

東京都においても、「都民の健康と安全を確保する環境に関する条例」に基づき、各種規制やモニタリングなどの対策を進めてきました。

これらの対策の結果として、現在では大幅に環境が改善されてきています。

区においては、公害対策の他にも路上喫煙対策などを引き続き行うことにより、身近な生活環境改善に取り組んでいきます。

□都内の環境濃度の推移（一般環境大気測定局）



出典)東京都「環境基本計画 2016」

□歩行喫煙等禁止周知・啓発キャンペーンの様子



□歩行喫煙等禁止周知・啓発用プレート



コラム 10 適応策ってなに？

これまでの地球温暖化を緩和するための対策だけでなく、起こりうる地球温暖化の影響に備える「適応策」にも近年関心が高まっています。

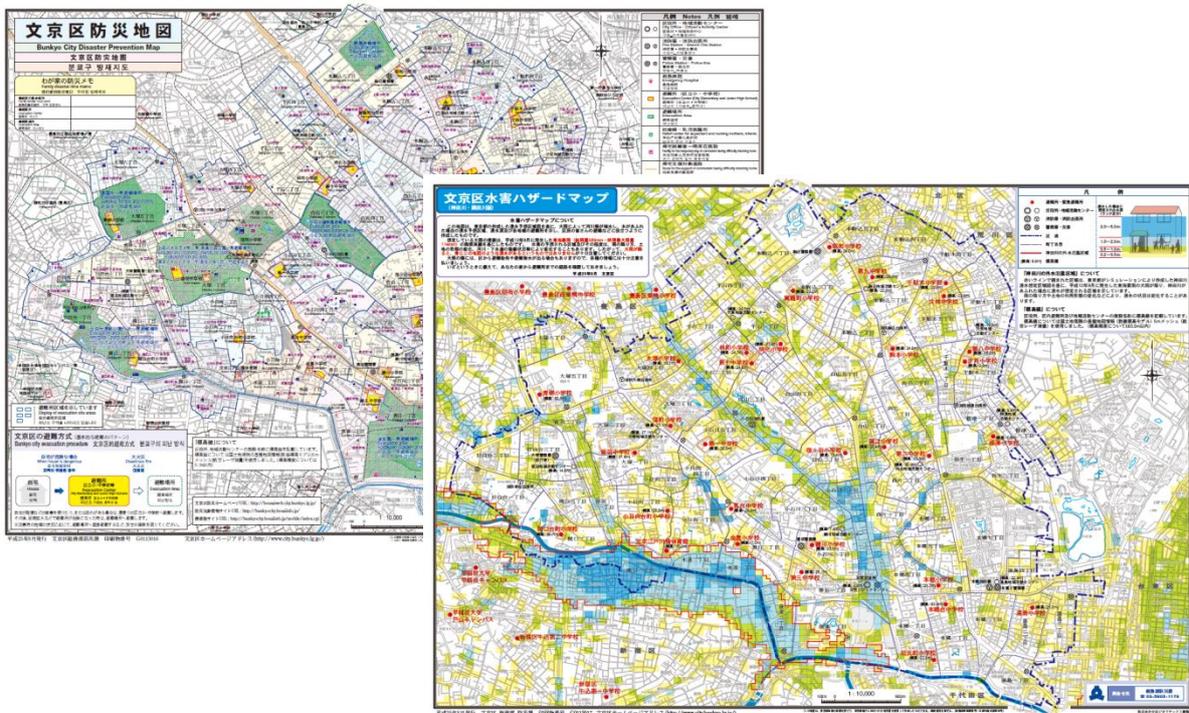
私たちの身のまわりでも、気温上昇による熱中症の増加や大雨などによる都市水害などが起こりうる可能性があるため、熱中症予防や災害時の避難所等の確認など、日頃から意識できる取組を行いましょう。



地球温暖化による身の回りに起こりうる影響の例

出典) 全国地球温暖化防止活動推進センターweb 情報より作成

区では、適応策の一環として「文京区防災地図」や「文京区水害ハザードマップ」を作成し、ホームページ等で公表するなどの取組を行っていますので、みなさんも関連する情報を入手するように心がけましょう。



出典) 文京区ホームページ

コラム 11 文京区でもこんな生きものを見つけました

文京区には、湧水などの水辺や日本庭園などのまとまった緑が存在し、そこには多くの生きものが生息・生育しています。

みなさんも身の回りや区内を探索するなどして、たくさんの生きものを探してみてください。新たな発見もあるかもしれません。

□区内で見つけたさまざまな生きもの



コラム 12 歴史・文化の息吹を感じましょう

文京区には多くの歴史・文化的資源が存在しています。これらは、貴重な歴史的・文化的価値をもっているだけでなく、その多くは緑のまとまりや水辺を形づくるなど、自然環境とも密接に関わる重要な拠点となっています。

文京区の特徴である歴史・文化の息吹を感じながら、自然とも触れ合うことで、私たちの感性を高め、豊かな心を育みましょう。

□小石川後樂園



□六義園



コラム 13 水辺を探しましょう

文京区には南側を神田川が流れているほか、庭園などの池や湧水なども存在しています。これらの水辺は、緑とあわせて多くの生きものの生息場所となるだけでなく、夏には涼を感じることができたり、癒やされるような効果もあります。

みなさんも身の回りの水辺を探してみてください。

□神田川



□肥後細川庭園



□関口芭蕉庵



コラム 14 環境ライフサポーターを紹介します

文京区では、区が実施する環境ライフ講座を受講し、区の環境保全イベントに参加された方等の環境保全活動を支援するため、平成 27 年度より「環境ライフサポーター」制度を実施しています。

環境ライフサポーターの登録後、文京区の環境保全イベント等に参加していただくことで、環境保全活動の輪が広がっていくことを目指しています。

区の環境保全イベント（クールアースフェア等）に区職員とともに運営側の立場で事業に携わり、イベントにいらした方々へ環境保全の啓発を行っています。事業に参加することで、環境保全への関心・理解をさらに深めながら一緒に活動する仲間を増やし、楽しく環境保全活動を続けています。

□活動の様子



コラム 15 事業者との連携・協働のカタチを探ります

文京区環境を守り、より良いものとしていくためには、区民・団体、事業者などの各主体との連携・協働が重要となります。

文京区では、「文京区地球温暖化対策地域推進計画」に基づき、地球温暖化対策に関する情報交換や各主体の連携を深めるため、区内大規模事業所セミナーを開催しています。

平成 28 年度は、トヨタ自動車株式会社の協力のもと、同社の東京本社にて取組紹介とビル内の省エネの工夫や燃料電池自動車 MIRAI の見学を行いました。

今後も環境を通じて、さまざまな事業者との連携や協働を継続、発展させていきます。

□セミナーの様子



コラム 16 区が目指すべき未来の環境都市像をみんなで考えました

区が目指すべき未来の環境都市像（環境共生都市ビジョン）についての意見交換を行うため、中央大学理工学部石川幹子教授の多大なるご協力のもと、「文京区の未来の環境都市像を考える ～文京区環境基本計画改定に向けて～」を平成 28 年 7 月に開催しました。

環境ライフサポーター、中央大学学生のみなさまにご参加いただき、文京区的环境における魅力と課題を抽出した上で、文京区の未来の環境共生都市ビジョンとしてキャッチコピーのアイデアを提案していただきました。

□意見交換会の様子

